

## 保存と継承、活用に取り組む 東北山・鉾・屋台協議会発足



3県5行事の保存会長などが集まり、相互交流に向けてがっちり握手。

10月5日、角館温泉花葉館で、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産に登録されている東北地方の3県5行事の保存団体が、連携して保存と継承活動に取り組もうと「東北山・鉾・屋台協議会」の設立総会が行われ、各団体の役員など約40人が出席しました。

協議会は、「角館祭りのやま行事」、秋田市の「土崎神明社祭の曳山行事」、鹿角市の「花輪祭の屋台行事」、青森県八戸市の「八戸三社大祭の山車行事」、山形県新庄市の「新庄まつりの山車行事」の保存団体が構成。設立総会では会則や役員について協議が行われ、会長には新庄まつりの山車行事の武田一夫保存会長が選出されました。

武田会長は「今日集まった5団体が協議会の中で相互交流を図りながら、それぞれの祭りの伝統を末長く繋いでいくことができればと思う」とあいさつしました。

協議会は、年度ごとに5団体の持ち回りで総会を開き、今後は相互交流を通して各行事の保存と継承、活用に取り組むことを確認しました。

## 白岩舞茸の美味しさ味わう

このほど、白岩地域運営体（菅原秀俊会長）の事業で栽培した原木舞茸が、市内全域の学校給食で振る舞われました。

同運営体のこの栽培事業は今年で6年目。平成27年からは学校給食で提供され、子どもたちに人気のメニューとなっています。

原木舞茸は色や香りがよく、10月4日に角館と西木地区では「舞茸うどん」、田沢湖地区では「芋の子汁」として、舞茸をふんだんに取り入れたオリジナルメニューが提供されました。

舞茸入りのうどんを食べた白岩小学校の子どもたちはその美味しさにニコリ。笑顔で「すごく美味しい」と、地場産の味を満喫していました。



舞茸の美味しさに笑顔がこぼれていました。



大塚瑠那さん（右）から「オリジナル名札」を門脇市長（左）に手渡されました。

## 大曲支援学校せんぼく校 オリジナル名札を製作

このたび、大曲支援学校せんぼく校に仙北市職員の名札製作の発注があり、仙北市産の秋田杉と桜皮を使用して、仙北市の特色を生かした『オリジナル名札』を製作・納品しました。

10月2日には、生徒を代表して高等部2年の大塚瑠那さんが、完成した『オリジナル名札』を門脇市長へ手渡しました。本体となる秋田杉の板材は（株）門脇木材様から、桜皮は榊細工職人の佐々木常安様から提供していただき、文字の部分については、角館きがた様からレーザーで彫っていただいたものです。

せんぼく校の中学部と高等部には、作業学習という形態の学習があります。高等部では21人の生徒が「榊木工班」と「農耕班」のいずれかに所属し、将来の社会参加に向けての学習を行っています。今回の名札は、榊木工班の生徒たちが作業学習の授業の中で145人分を製作。1枚ずつ板を加工し、桜皮を桜の形に抜いたものを丁寧に貼り付け、磨き、心を込めて作りました。



## 新 秋田の行事 in 仙北 2018

県内外の民俗芸能や祭りが一堂に会するイベント「新・秋田の行事 in 仙北2018」が10月6日、角館町の中心部で開催されました。当初は6日と7日の2日間の開催予定でしたが、台風25号の影響で7日は中止。6日のみの開催となりましたが、「角館祭りのやま行事」をはじめ、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」に登録されている県内3行事が共演し、観光客を魅了しました。

県内3行事は、角館祭りのやま行事のほか、土崎神明社祭の曳山行事（秋田市）と花輪祭の屋台行事（鹿角市）。外町エリアの3つの通りを会場に、それぞれが練り歩き、やま同士を衝突させる観光やまぶっつけや豪華絢爛な屋台、武者人形を載せた迫力ある曳山の引き回しで観光客を楽しませました。

また、武家屋敷通りがある内町エリアでは、特設ステージなどで県内外9団体が各地に伝わる踊りなどを披露し、会場を大いに沸かせました。角館のお祭り保存会の今野則夫会長は「角館にユネスコ登録の県内3行事が集い、武家屋敷通りを『土崎の曳山』や『花輪の屋台』が練り歩いたことは感慨深い」と目を細めていました。

① タイ王国民族舞踊（タイ王国） ② 角館祭りのやま行事（仙北市） ③ 根子番楽（北秋田市） ④ 法霊神楽（青森県八戸市） ⑤ 角館外町エリア開会宣言（横町会場） ⑥ 小山田ささら（仙北市） ⑦ 秋田の竿燈（秋田市） ⑧ 土崎神明社祭の曳山行事（秋田市） ⑨ 花輪祭の屋台行事（鹿角市） ⑩ 鳥海山日立舞（にかほ市）





武藤 啓司さん  
(74歳 角館町七日町)

安全安心な  
まちづくりを

角館地区交通安全協会理事、仙北市防犯協会角館支部理事、仙北市防犯協会角館支部副支部長となり地域の交通安全・防犯に努めてきました。

また、秋田県遺族連合会戦没者遺児の会委員、角館地区遺族会役員、仙北市遺族連合会副会長となり、後世に恒久平和を伝える役割を担っています。

さらには、総鎮守角館神明社崇敬会監事、菩提寺報身寺護持会役員などの活動を通して、地域コミュニティの活性化にも貢献されました。



夕方に毎日のように地域のパトロールを行っています。

平成30年度  
地域輝き表彰

仙北市では、明るい社会づくりの一環として、様々な分野で社会参加し、地域の中でできらりと輝き活躍している65歳以上の方を地域の小学校の学習発表会の場で表彰しています。  
平成30年度に表彰された3人をご紹介します。  
(年齢は平成30年10月31日現在)

藤原 幸子さん  
(81歳 田沢湖神代)



障がい者の  
心の支えに

不整脈を患い、心臓手術・心臓ペースメーカーを埋め込み身体障害1級となりました。その後、順調に回復し、田沢湖町身体障害者協会へ入会。協会長からの委嘱により「身体障害者相談員」を務めました。

以来、合併後の仙北市においても継続し、会議や事業に積極的に参加し、当時の協会長を助けて見るべき成果をあげました。

会員の皆さんからの信頼も固く、障がい者福祉の向上に貢献されました。



神代中央長寿クラブの皆さんと受賞を喜びました。

中島 正一さん  
(70歳 田沢湖刺巻)



刺巻地域の  
元気づくりを

刺巻成年会長を務め、刺巻湿原の保全管理を行いながら、地域住民をまとめ「水ぼしょう祭り」を企画し、刺巻地区の振興と活性化、高齢者の生き生き元気を創りだしてきました。

また、24回の歴史を刻む「うまい米コンテスト」を企画し農家の意欲喚起とPRを行い、むらおこしの一翼を担ってきました。

さらには、JR刺巻駅前を中心に花の植栽、冬のイルミネーションの点灯、田沢湖マラソンのボランティアなど、地域全住民を巻き込んだ地域づくりに貢献されました。



田沢湖マラソンの22.5km地点の給水所でボランティアを行っています。

平成30年度

防犯功労者表彰式・全国地域安全運動合同パトロール出動式

10月11日、角館武道館で全国地域安全運動へ向けた合同パトロール出動式が行われました。

出動式には仙北市防犯協会支部会員や警察官などの関係者が出席、角館小学校の6年生の児童2人に仙北警察署1日署長の委嘱状が交付されました。角館小学校金管バンド部が激励の演奏を披露した後、出席者はパトカーや青色回転灯装備車などに乗り込み、パトロールに出発しました。

出動式に先立ち、防犯活動に功労のあった11人と2団体の表彰式が行われました。

- 平成30年度防犯功労者表彰式表彰者（敬称略）
- ◆全国防犯功労者表彰（防犯栄誉銅賞）橋本左武郎
  - ◆秋田県警察本部長・秋田県防犯協会連合会長連盟表彰 安藤恭藏、中村清三郎、高橋幸雄
  - ◆仙北警察署長・仙北市防犯協会長連盟表彰 個人表彰 高橋喜志治、佐々木和典、佐藤澄夫、長谷川勉、草薨弘、福岡克巳、石郷岡広之
  - 団体表彰 角館建設工業㈱、㈱小松建設



防犯功労者表彰を受けられた皆さん。



表彰式後、パトロールに向け青色回転灯装備車などが仙北警察署から出動しました。

百寿のお祝い

10月9日、小林ヨシさん（角館町雲然）が100歳の誕生日を迎えられ、10日に田沢の郷でお祝いが行われました。

当日は、家族の皆さんが集まり、仙北市からはお祝いと花束が贈呈されました。



小林ヨシさん（中央）をみんなでお祝いました。

親子だけの図書館の日



谷京子先生の読み聞かせは大人気。子どもたちは、あっという間に引き込まれていました。

9日30日、田沢湖図書館では、閉館日に図書館を親子だけに開放しました。当日は、あいにくの雨となりましたが、小さい子どもたちが12人、保護者の方が7人訪れました。子どもたちは、読み聞かせをはじめ、ままごとやブロック遊び、お絵かき、折り紙などを楽しみ、お母さんたちは、ティータイムやランチタイムで楽しいひとときを過ごしました。